



## 大きく育て！くにの松原でクロマツの植樹

12月7日（日）、『くにの松原にクロマツを植えよう！』と題して、ボランティアによる植栽活動が行われました。

これは、NPO 法人森と木の研究所（代表理事：大坪弘幸さん）が主催したもので、当日は地元住民や関係者ら61名が参加し、抵抗性クロマツを約1000㎡に810本の植栽し、また除伐や落葉除去作業も実施されました。

作業終了後には、小中学生を対象に県産スギ材を使用した木工教室も行われました。

参加者からは、「自分が植えたマツが大きく育ててほしい、愛着が湧きます。」という声が聞かれました。



▲1本ずつ丁寧に植栽されました



## ふれあい・いきいきサロンなどで町政報告！

高齢者の方々を中心に、地域に住む誰もが気軽に参加でき、世代を超えた仲間づくりの場としての『ふれあい・いきいきサロン』が町内各地で開設され、孤独感の解消や閉じこもり防止など、『地域社会における健康でいきいきとした生活の実現』をめざした活動が活発になってきております。そういったサロン活動の一環として、『いきいき実年大学』や『小能サロン』、『I K K Uサロン』などでは、町長を講師に招いての『町政報告会』が行われました。

東町長は、「町民の皆さんとの意見交換の場として今後も積極的に参加させていただきたい。皆さまからのご要望をお待ちしております。」と話されていました。



▲『I K K Uサロン』で町政報告をする東町長



## 県内初！『津之輝（つのががやき）』の出荷始まる！

中水流健二さん（下谷迫）のハウスでは、県内では初めてとなる『津之輝（つのががやき）』の出荷が始まりました。

津之輝は、平成21年（2009年）に国の果樹研究所で育成された新品種で、オレンジの香りがあり、手で皮が剥ける食べやすいカンキツです。糖度が高く、発がん抑制効果や骨粗しょう症の防止効果が認められています。

中水流さんのハウス22アールでは、暖房機を使わない無加温栽培により、12月中旬から贈答果実として出荷しており、石油燃料を必要としない低コスト品目として、普及することが期待されています。



▲園主の中水流健二さん・照美さん